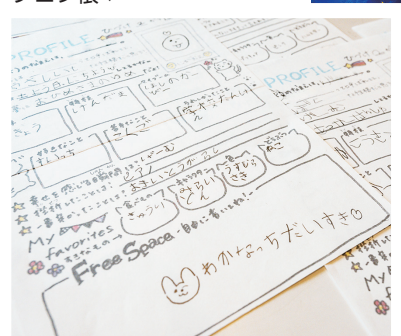




自己紹介を書く
プロフィール帳▼



こどもがやりたいことを
一緒に楽しむ駄菓子屋さん。

みんなのだがしや ビーム

時 10 月末までの毎週金曜日 13:00 ごろ～18:00 ごろ

場 北本団地「中庭」(栄7-1-26-102)

こどもたちと一緒に
作った缶バッジ▶



『みんなのだがしやビーム』は、大宮和奏さんが、こどもたち一人ひとりに「何したい？」と声をかけ、長谷川凛さんと牧野ひなたさんは店番やポップづくりを担い、太田珠羅さんは活動の様子を撮影する。凛さんは、「わかったのインスタを見て楽しそうだったので、私も参加させてもらってます。小さい子と関わる経験がほとんどなかったんですけど、こどもたちが積極的に話しかけてくれて、「一緒に『蛇じゃんけん』や『グリコ』で遊んだのがすごく楽しかったですね」と話してくれた。

ビームでは、お金を持っていなくても駄菓子が買える仕組みを始めた。お手伝いをする「1ビーム」がもらえ、「3ビーム」で100円分の買い物ができる。自己紹介を書く「プロフィール帳」や「だがしやノート」もあり、駄菓子を買っても買わなくても、そこで過ごすことができる。

和奏さんは言う。「こどもには必ずここで何がしたいか聞いています。お祭りやりたいって言われれば一緒にやりたいし、何もしなくても良い。『ビーム』には建物の骨組みである『梁』という意味がありますが、この梁に、来てくれたみんなと一緒に肉付けして、この場所を作っていくですね」

会いに行く。
つくる人たちへ
こどもの居場所を

家でも学校でもない

北本市では、地域の皆さんが「家でも学校でもないこどもの居場所」として、こども食堂やフードパントリーなど、多様な居場所づくりを行っている。「こどもたちの選択肢になりたい」「こどもと親を助けたい」という想いのもと、活動する人たちへ会いに行った。



きたもと BASE
「子どもの居場所等マップ」
北本市内のこどもの居場所ネットワーク「きたもと BASE」を構成するこどもの居場所 16 か所を紹介



こども食堂
こどもが1人でも行ける無料または低額の食堂。孤食の解消や食育、地域交流の場などの役割を果たすとされる。

フードパントリー
様々な理由で食品や日用品の入手が困難な人に対して、物資を身近な地域で無料で配付する活動(場所)。

「居場所と思うかはこどもが決めること。ここはこどもの選択肢の一つになれば良いんです」